

地元NPOと応援NPOとの マッチングについて

平成28年8月30日

NPOくまもと理事 樋口 務

熊本地震における支援調整(コーディネーション)イメージ



4月19日(火)の県・NPO・国の協議の様子
この会合が熊本地震・支援団体火の国会議に発展する。



内閣府と
厚生労働省
も出席



「熊本地震・支援団体火の国会議」の様子(4月30日(土))



(別添) 熊本地震における支援調整(コーディネート) 参考資料

(※)首相官邸HP「熊本県熊本地方を震源とする地震について」
<http://www.kantei.go.jp/jp/headline/h280414earthquake.html>
に掲載されている「非常災害対策本部会議資料」より抜粋
(同会議は平成28年6月16日まで全31回開催されており、
各資料に記載の内容は会議開催時点のもの。)

1. ボランティアの活動状況
2. 避難所の環境改善
3. (参考)全国災害ボランティア支援団体ネットワーク
(JVOAD)等

1. ボランティアの活動状況～社会福祉協議会が運営するボランティアセンターについて～

ボランティアの活動状況について

- 一般の個人ボランティアを受け入れて、被災者の支援活動を行うボランティアセンター。
- 被災地の各市町村社福祉協議会（以下社協）が、行政や県社協、全社協などと連携して開設・運営。

【各ボランティアセンターの状況】

※5月11日の参加実績（厚生労働省資料をもとに内閣府にて作成）

	No.	市町村名	開設日	募集範囲	主な活動内容	参加実績 (単位:人)		No.	市町村名	開設日	募集範囲	主な活動内容	参加実績 (単位:人)	
						5/11	累計						5/11	累計
熊本県	1	菊池市	4/19	市内	※ニーズ調査、ボランティア受付のみ	-	661	9	合志市	4/22	市内	ニーズ調査	-	679
	2	宇土市	4/19	熊本県内	避難所運営サポート、支援物資仕分けなど	21	2,235	10	菊陽町	4/22	熊本県内	避難所の運営サポート、支援物資の仕分け、被災家屋の片付けなど	5	1,493
	3	宇城市	4/19	全国	避難所運営サポート、支援物資の仕分け、在宅の要配慮者の生活復旧など	108	2,581	11	美里町	4/22	町内	ニーズなし	0	183
	4	南阿蘇村	4/20	熊本県内	避難所運営サポート、支援物資の運搬など	57	2,603	12	西原村	4/24	全国	被災家屋の片付け、子どもの遊び相手など	105	2,927
	5	山都町	4/21	町内	ニーズなし(防災無線を活用し最終的なニーズ掘起し中)	0	163	13	甲佐町	4/25	県内	被災家屋の片付け、瓦礫撤去など	23	517
	6	益城町	4/21	全国	避難所運営サポート、支援物資の運搬など	440	9,164	14	阿蘇市	4/26	-	5/3で災害ボランティアセンターを閉鎖	-	718
	7	熊本市	4/22	全国	ボランティア依頼のポスティング作業およびセンターの運営支援	560	15,619	15	嘉島町	4/26	熊本県内		41	756
	8	大津町	4/22	九州内	被災家屋の片付け、清掃活動など	40	1,423	16	御船町	準備中	九州内	支援物資の仕分けと運搬など	27	989
大分県	1	由布市	4/20	-	4/26で災害ボランティアセンターを閉鎖	-	204	2	竹田町	準備中	-		-	-

当日参加者人数 1,427人 / 累計参加者人数 42,915人

避難所の環境改善

避難所アセスメント

○熊本県関係部局、熊本市の協力を得て、「火の国会議」参加NPO等が、5月2日(月)～4日(水)に熊本県内の全ての避難所を対象としたアセスメントを実施

○「火の国会議」参加NPO等が直接調査した118箇所の避難所については5月6日(金)に熊本県及び政府現地対策本部に報告した。

○結果を受け、火の国会議参加のNPO等が避難所の生活環境の向上を図っている。

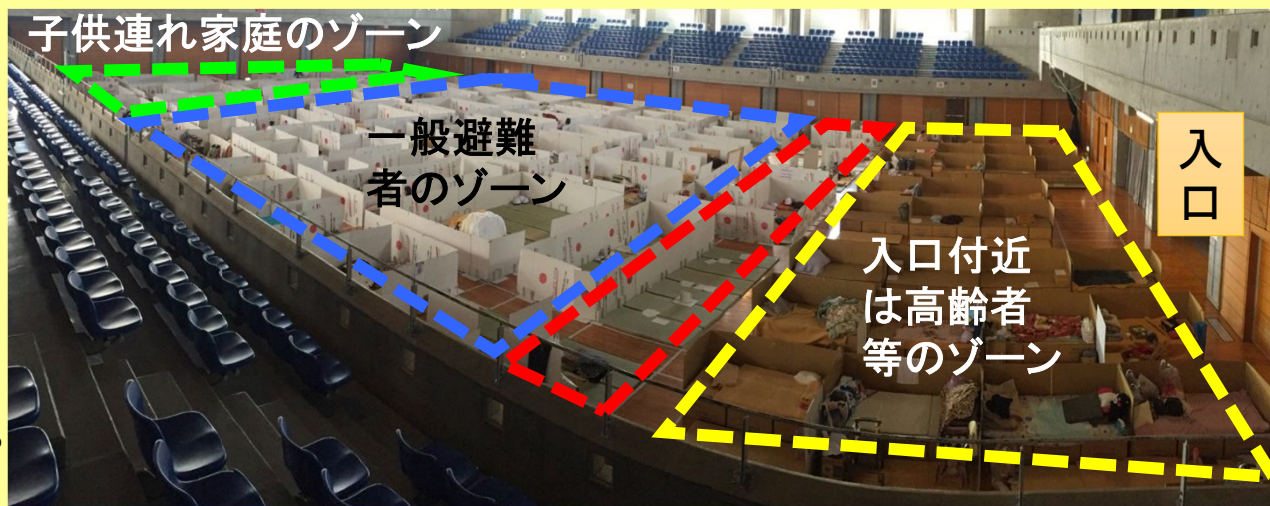


避難所アセスメントの様子
出典:みらいサポート石巻(火の国会議参加団体)

NPOが協力した 避難所の空間整序の例

JAR(難民支援協会)等が宇城市と連携し、宇城市松橋総合体育文化センターにおいて、避難者が主体的に避難所運営に関わるように巻き込みつつ、空間を整序した。

5月11日(水)撮影

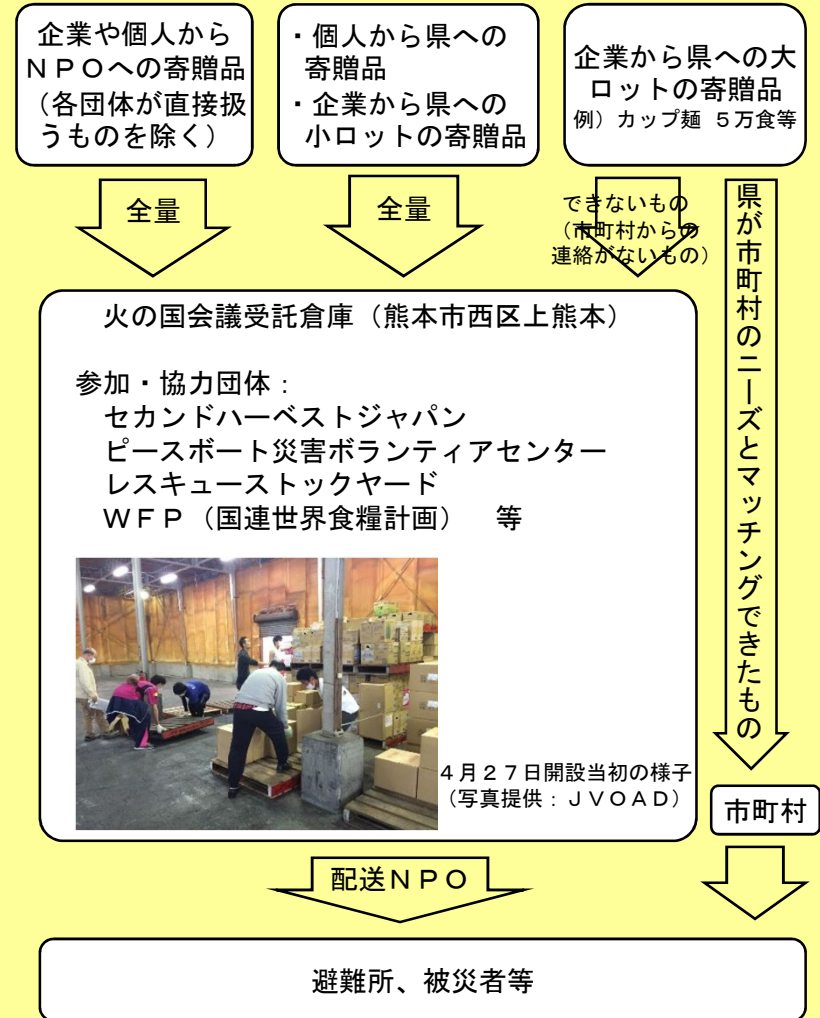


参考資料

全国災害ボランティア支援団体ネットワーク(JVOAD) 構成予定団体(6月法人化予定)

- 特定非営利活動法人 国際協力NGOセンター
- 特定非営利活動法人 ジャパン・プラットフォーム
- 震災がつなぐ全国ネットワーク
- 公益社団法人 日本青年会議所
- 特定非営利活動法人 日本NPOセンター
- 社会福祉法人 全国社会福祉協議会
- 日本生活協同組合連合会
- 東京災害ボランティアネットワーク
- チーム中越
- カリタスジャパン
- 一般社団法人 クロスオーバーラボ
- 一般社団法人 情報支援レスキュー隊
- 特定非営利活動法人 難民支援協会
- 特定非営利活動法人 難民を助ける会
- 東日本大震災支援全国ネットワーク
- 一般社団法人 ピースボート災害ボランティアセンター
- 特定非営利活動法人 レスキューストックヤード

火の国会議参加NPOが熊本県から 依頼を受け、寄贈品を仕分け・配送 (4月27日開始)



くまもと災害ボランティアネットワークの設立について

1. 設立の趣旨

今般の熊本地震においては、熊本県内外から数多くの産官学民の支援を受け、現在も県民が一丸となり、復旧・復興に向け取り組んでいます。この状況の中で、県内外から集まった大勢のボランティアの力は、非常に重要な位置を占め、行政の限界を超えた膨大で多様なニーズに柔軟に対応できる力として「災害ボランティア活動」の意義と重要性が再認識され注目を集めました。

今回の災害で私たちが得た支援のノウハウは熊本県の財産でもあり、県内団体等が行った支援活動をふりかえり、その課題も検証する必要があります。

今後、災害そのものを防ぐことはできませんが、被災地としてこの貴重な経験を活かし、助け合いの精神とともに将来に向けて県内被災地の復興へと繋げ、いつまでもこのような大規模な災害が発生するか予測はできないものの、その時のため、平時からの災害ボランティアの共同体としての相互扶助関係の構築が急務と捉えています。

そのために、災害支援と復旧・復興を担う組織を立ち上げ、人材の育成を図ることを目的に、『くまもと災害ボランティアネットワーク』を設立することとしました。

2. くまもと災害ボランティアネットワークの機能

① 平時に行う活動

- ・ネットワークの形成による連携強化と情報の共有・発信

全国の災害支援NGOやNPO等の災害ボランティア団体との情報交換を常時行い、支援活動の情報を共有します。また、熊本県内外の災害・防災に関する事象を記録するだけでなく、SNSや出版物等により熊本県民へ広く広報します。

- ・ストックヤードの情報共有

県内外の被災地ですぐにボランティア活動に着手できるように、レスキュー資機材の備蓄状況の把握と情報を共有します。

- ・災害者支援を行う人材育成

災害発生初動時に機動力を発揮するため、人材派遣の必要性を把握する災害先遣隊要員を育成します。また、その後のボランティアセンター立ち上げ時のボランティアコーディネーター等の人材を育成します。

② 被災地で想定する活動

- ・被災者、住民、地域ニーズの全体像の把握

県内外で発生した直後に派遣する先遣隊情報を基に、必要な支援状況の把握を行ないます。

- ・支援活動のコーディネーション

支援団体などへの情報共有と支援団体間のコーディネーションを行い、支援活動を実施するための資材・人材などを効果的に投入します。

- ・復旧・復興に向けた支援策の提言

既往の災害対応で得た支援ノウハウを基に、災害規模や地域の実情に応じた支援策の提言と支援後の検証を行います。

3. 構成団体・機関(案) ※詳細については裏面参照

産：熊本県商工連合会、熊本県生活協同組合連合会

官：熊本県、熊本市、熊本市民活動支援センター、熊本市男女共同参画センター、熊本県社会福祉協議会、熊本市社会福祉協議会

学：熊本県内の各大学

民：JC熊本ブロック協議会、熊本青年会議所、熊本YMCA、ほか設立に賛同するNPO等の団体

4. スケジュール案

7月23日 準備会の設立：くまもと災害ボランティアネットワーク設立実行委員会

(熊本地震・支援団体火の国会議、ひごまる会議参加団体を基盤として構成)

8月25日 準備会による勉強会(構成団体・機関への呼びかけ)

8月30日 構成案、企画案の素案策定(予定)

9月17日 運営計画案、規約案等の素案策定、第1回幹事会の開催(予定)

10月1日 設立総会の最終調整、第2回幹事会の開催(予定)

10月22日 設立総会(予定)

避難所応援 布団干し活動

実施している団体

特定非営利活動法人
ソナエトコ

おはなし 理事長 水野直樹さん



【団体概要】

特定非営利活動法人 ソナエトコ 設立日:平成26年1月16日

活動の目的:幅広い世代に対して、「自分の命を自分で守る力を身につける」というコンセプトのもと、特に防災・防犯・教育という視点で活動。その場その場で考えて動ける人を増やしていけるよう、知識と実践力を養う事業を行い、逆境に強い人材を育成することで、安全安心な社会づくりに寄与することを目的としています。

■活動のきっかけとなったのは?
普段の活動は団体名の通り、「備え」をテーマとして災害前の準備や啓発です。震災の後、団体としてどう動くか迷っていた時に、愛知から支援に来ていたレスキューストックヤードの方とお話したのが転機になりました。支援には、「自分たちの専門分野を活かした活動」と「避難している方々のニーズを形にしていける活動」があることを知り、我々ができるのは後者だと感じました。ニーズを把握するための手段として「足湯」や「茶話会」の運営方法を教わり、さっそく避難所に実施。その茶話会の中

レスキューストックヤード(愛知県)からのアドバイスで、避難所で暮らす皆さんへ向けて「足湯」や「茶話会」を実施。その中で聞こえた被災者の方からの声をもとに、避難所での「布団干し」の活動がスタートしました。

■どのような活動ですか?

晴れた日に避難所を訪問し、被災者の方の敷布団や掛布団を干すお手伝いをしていきます。布団を干している間も「今夜は気持ち良かるうね」「汗をかけたけど、水が美味しい!」などの声が聞こえてきました。震災前には当たり前だった日常の喜びを少しでも感じられるように、と活動を続けています。

支援してくれた県外の団体
認定特定非営利活動法人
レスキューストックヤード
椿佳代さん



今回ご紹介した足湯も茶話会も、過去の災害支援の経験から生まれたニーズの汲み取り方法です。ソナエトコさんと一緒に活動に関わることができ、被災された方への想いが感じられ、毎回温かい気持ちになりました。また一緒にできますように!



☎ 096-273-6493 ☎ 096-273-6495
(電話受付時間 9:00～18:00 年中無休)

HOME | 法人概要 | 入会案内 | お問い合わせ | アクセスマップ | 採用情報 | Facebook

NEWS

平成28年 熊本地震 支援の取組み

益城町の炊き出しを調整します

1 炊き出しをする皆様へ

▶ 衛生面に対する注意事項 PDF

▶ 炊き出しチェック表 Word

▶ 安全衛生面に関するQ&A PDF

1 募集しています

法人概要

これまでの歩み

発行物一覧

1 募集しています

寄付受付 2016年8月15日現在

平成28年熊本地震における支援金を募集しております

益城町における「炊き出し」支援の窓口開設について

<大切なお願い>

ただいま多くのご支援の申し出を頂いており電話が大変混み合っております。炊き出しは必ず下記の本文をご確認頂き、出来るだけメールにてお問い合わせください。炊き出し実施の調整を優先させて頂きますので、ご相談のみのお問い合わせや質問等にはすぐにお答え出来ない場合があります。またNPOくまもとの通常窓口(096-273-6493)では、炊き出し調整に関するお問い合わせを受け付けておりません。お気をつけください。

◆炊き出し専用問い合わせ窓口

メール: mashiki.seeds@gmail.com

電話: 080-4185-4391 (月曜日から金曜日 10:00～17:00)

地震の発生から一か月になる益城町では、炊き出し支援の受付窓口を開設しました。現在、避難所等ではお弁当の提供を実施しておりますが、栄養バランスがとれた温かい食事を提供したいという考えから「炊き出し」の支援を受け付けております。

地域から聞こえてくる様々な声の一つに、「添加物の少ないものを子供にたべさせたい」、「固くて噛めない、飲み込みにくい」、「汁ものがほしい」、「野菜をたっぷり使ったメニューが食べたい」という声があります。

そこで益城町からの依頼のもと、NPOくまもとが「炊き出し」支援の申し出を、必要な避難所や地域等へマッチングするなどの調整をさせていただきたく、受付窓口を設けることとなりました。なるべく多くの地区で継続的に実施ができるように、可能な限り調整させて頂きます。定期的また継続的に実施できる方や団体は大歓迎です。

※多くのご支援のお申し出を頂いた場合、すべての申し出をおこなえない場合がございます。

益城町にて「炊き出し」支援をご希望の方は、下記をご確認のうえ、メールにてお問い合わせください。

◆調整できる支援内容

炊き出し

◆活動場所

益城町内の避難所、公民館や公共施設、またはその敷地内など

◆条件

- 活動の趣旨をご理解、ご賛同いただける方。
- 実施希望日の3日前までに、下記の方法にてご連絡いただける方。
- 実施に関わる食材、食料、交通費や交通手段などをご自身でご手配いただける方。
- 御船保健所からの衛生面に対する注意事項(PDF)をよく読み、遵守できる方。
- 食品の提供時には炊き出しチェック表(Word)を記入・印刷し、住民に見える場所に掲示してください。炊き出し終了後にはチェック表を施設の担当者に提出してください。
- 活動で発生したゴミは、全てお持ち帰りいただきます。また、実施場所の清掃や現状復帰をしてくれる方。
- 活動中の営業活動、政党活動、宗教活動は禁止です。

◆注意点

- 開催日時、提供出来るメニュー(野菜たっぷりのお味噌汁等)、配食数は、お問い合わせ前に決めておいてください。
- ただし、地域事情やニーズにより日時や内容の案の変更をお願いすることもあります。
- 迷惑メールなどの設定を行っている方は、mashiki.seeds@gmail.comからのメールが受信出来るよう設定変更をお願いします。
- 一度に500食を超える炊き出し提供場所は数が少なくなっております。50食くらいからの炊き出しも大歓迎です。
- 熊本県内では交通渋滞も発生しており、移動や準備も含め、実施には余裕を持った時間設定をお願い

します。

- 事務局では現地ニーズに合わせ、皆様からの炊き出しのお申し出を随時マッチングしております。大変恐縮ですが、多くの問い合わせをいただいている事もありすべてのお申し出をお答え出来ない場合もある事を予めご了承ください。
- 活動を直前にキャンセルするのは、住民の方を大変困惑させますので、絶対にお止めください。雨天時も同様、開催をお願いします。
- 御船保健所衛生環境課、益城町保健福祉センターでは、炊き出し実施に関わる安全衛生面に関するQ&Aを記載しています。内容を事前にご確認ください。基準に反する炊き出しは実施出来ません。

◆炊き出し実施に関するお問い合わせ方法

実施希望日の3日前までに、以下の情報をメールにて送ってください。

- メールの宛先: mashiki.seeds@gmail.com
- メールのタイトル: 「【炊き出し希望】益城町」
- メールの内容:

-ここから-

団体名(フリガナ):

担当署名(フリガナ):

電話番号(携帯):

メールアドレス:

住所:

実施可能日程: ●月●日●曜日 ●時～●時頃

提供メニュー(※):

※提供するメニューはすべて記載をお願いします。記載のないメニューは提供できません。

配食数: 最小●食～最大●食

調理・配膳者数: ●名

お越しになる際の車の車種と台数: メーカー名●、車種名●、●台

炊き出し実施経験: なし / あり(●回: 主な実施場所や内容)

<食中毒防止のために下記の項目をご記載ください>

—健康チェック—

・下痢、発熱の症状はありませんか なし / あり (人)

・手指に傷はありませんか なし / あり (人)

・指輪は外していますか 外している / 外していない (人)

・衣服は清潔ですか 清潔 / 不潔

・爪は短く切っていますか 短い / 長い

-ここまで-

※健康チェックで該当する方は、調理・配膳に参加できません。

※メールで頂いた内容は食品衛生管理の関係により、益城町保健福祉センター(096-234-6123)ならびに

御船保健所衛生環境課(096-282-0016)と共有させていただきます。

※必ずしも記載いただいた内容どおりで確定できるわけではありません。現地の状況により、内容の変更をお願いする場合があります。

特定非営利活動法人 NPOくまもと
〒861-5515 熊本市北区四方町426-4
Tel 096-273-6493 Fax 096-273-6495

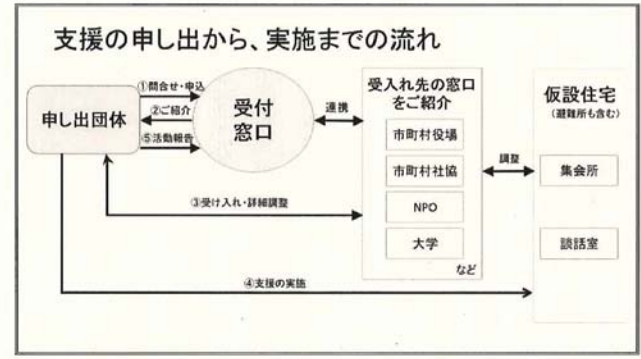
■ HOME ■ 法人概要 ■ 入会案内 ■ お問い合わせ
■ 個人情報保護 ■ アクセスマップ ■ 採用情報 ■ Facebook

copyright © NPOkumamoto, All Rights Reserved

ボランティア情報

- 「仮設住宅におけるボランティア活動支援受付窓口」を開設について
調整できる支援内容・活動場所・条件/注意点について
お申し込み・お問合せ窓口について

仮設住宅におけるボランティア活動支援受付窓口を開設しました。



この窓口は、被災した市町村において実施する「地域支え合いセンター」による被災者支援が開始されるまでの間、地域の状況に合わせた支援活動を円滑に進めることにより、今後の地元主体のコミュニティ形成に役立つ目的で設置しました。

被災者の方々が、仮設住宅やみなし仮設での生活等に移りつつある現在、被災地で求められるボランティア活動は、被災者の生活支援(買物支援・調理支援・(仮設住宅などの)環境整備)・安否確認・孤立防止などの活動を中心に、交流活動・イベント実施などへの参加も求められます(地域によっては、力仕事を中心としたボランティア活動もあります)。

これらの活動には、被災者とのコミュニケーション、人間関係づくりが必要となることから、比較的長期あるいは継続的(断続的)に被災地に滞在できる方が適役となります。

実際の活動は現地の職員も担いますが、ボランティアの特性が生きる重要な役割となっています。

一方で、短期間であっても、大勢の方に来ていただいで、対応しなければならないニーズも依然あります。

被災地支援のボランティア活動は、支援を求めらる被災地の方がたのニーズと、支援をしたいという方々の熱い思いによって成り立っています。

そこで、熊本県社会福祉協議会では、JVODと連携し、NPO(かもと)と協働して、活動のお申し出を必要とされる仮設住宅等へご紹介する受付窓口を設けることとなりました。

なるべく多くの地区で継続的に実施できるように、可能な限りつながせていただきます。

- 「仮設住宅におけるボランティア活動支援受付窓口」を開設について
調整できる支援内容・活動場所・条件/注意点について
お申し込み・お問合せ窓口について

ページの先へ

戻る ホーム

ボランティア情報

- 「仮設住宅におけるボランティア活動支援受付窓口」を開設について
調整できる支援内容・活動場所・条件/注意点について
お申し込み・お問合せ窓口について

調整できる支援内容・活動場所・条件/注意点について

- 調整できる支援内容
生活支援(買物支援・調理支援・(仮設住宅などの)環境整備など)
交流活動(高齢者サロン・子育てサロンなど)
イベント

- 活動場所
熊本県内の仮設住宅

- 条件/注意点
活動の趣旨をご理解、ご賛同いただける方。
実施希望日の10日前までにお申し込みいただける方。

- 活動で発生したゴミは全てお持ち帰りを原則とし、実施場所の清掃や現状復帰をしていただく方。
活動中の営業活動、政党活動、宗教活動等は禁止です。

- 活動を行う仮設住宅全戸への開催概要を記載したチラシは各団体の責任において全戸に配布してください(直前に現地入りする(チラシが配ることができない)場合はご連絡ください)。

- 必要な資機材は、自らご心配ください。屋外で実施する場合は日中や暑い時間帯の開催は極力お避け下さい。また、こまめな水分補給を促して(アナウンスして)ください。

- 事故、ケガ、トラブルに関する防止対策を図ってください。
熊本県内では震災以降、交通渋滞も発生しており、移動や準備も含め、実施には余裕を持った時間設定をお願いします。

- 活動を直前にキャンセルするのは、住民の方を大変困惑させますのでお止めください。雨天時も想定の上、ご準備をお願いします。

- 実施日時や場所の希望は承りますが、集会所や談話室の利用は、仮設住宅で生活を送る方が優先されます。また集会所や談話室が建設されていない、また住民による運用方法が決まっていないなど、受け入れ態勢ができていない場合や、多くのご支援をいただいた場合、ご希望に添えない場合があります。

- 必ずしも記載いただいた内容どおりで確定できるわけではありません。地域事情やニーズ、現地からの要望がない場合、内容の変更や支援を実施できない場合があります。

- 生活支援について
仮設住宅では住民の生活が始まっています。食品や物資の提供については、一方的な配布で終わるのではなく、住民同士がコミュニケーションをとれるように、集会所などを活用して実施してください。

- 交流活動について
既に活動が実施されている活動に配慮し、一部の住民だけが対象とらないように、事前に十分に告知を行うよう努めてください。

- イベント実施に関して
屋外で実施する場合は日中や暑い時間帯の開催は極力避け、こまめな水分補給を促して(アナウンスして)ください。

- 演奏等の際の音量および楽器については、住民の状況を考慮のうえで構成を検討してください。
食品の提供について
提供出来るメニュー、配食数は、お問い合わせ前に決めておいてください。

- ただし、地域事情やニーズにより日時や内容の案の変更をお願いすることもあります。
※提供するメニューはすべて記載をお願いします。記載のないメニューは提供できません。

-----お申し出の内容-----
申込者住所
団体名(フリガナ)
代表者氏名
担当者氏名(フリガナ)
電話番号(現地で連絡可能なもの)
ファックス番号
メールアドレス
活動目的
活動内容
実施者(支援者)人数

- ・対象者数
- ・活動希望場所
- ・過去の活動経験
- ・第1希望日程: ○月○日○曜日～○月○日○曜日、○時～○時頃
- ・第2希望日程: ○月○日○曜日～○月○日○曜日、○時～○時頃
- ・第3希望日程: ○月○日○曜日～○月○日○曜日、○時～○時頃

<食品事故防止のために次の項目をご記載ください>
 健康チェック

- ・下痢、発熱の症状はありませんか なし / あり (人)
- ・手指に傷はありませんか なし / あり(人)
- ・指輪は外していますか 外している / 外していない(人)
- ・衣服は清潔ですか 清潔 / 不清潔
- ・爪は短く切っていますか 短い / 長い

- ・保健所からの衛生面に対する注意事項(PDF)をよく読み、遵守できる方。
- ・食品の提供時にはチェック表(Word)を記入・印刷し、住民に見える場所に掲示してください。焼き出し終了後にはチェック表を施設の担当者に提出してください。
- ・実施に関わる安全衛生面に関するQ&A(PDF)を記載しています。内容を事前にご確認ください。基準に反する焼き出しは実施出来ません。

- [仮設住宅におけるボランティア活動支援受付窓口]を開設について ● 調整できる支援内容・活動場所・条件 / 注意点について
- お申し込み・お問合せ窓口について

▲ページの先頭へ

戻る ホーム

Copyrights 2008 Kumamoto Prefectural Council of Spocial Welfare Allrights Reserved.

ふれあいネットワーク
熊本県社会福祉協議会
 県民が支えあい、だれもがその人らしく、安心していきいきと暮らせる福祉社会の実現を目指して

検索

・サイトマップ ・市町村社協専用ページ

お知らせ 市町村社協・社会福祉施設を探す ボランティア 福祉のお仕事 学ぶ 特別賛助会員

● ホーム > ボランティアセンターTOP > ボランティア情報(一覧) > ● 仮設住宅におけるボランティア活動支援受付を開設しました。 戻る ホーム

ボランティア情報

- [仮設住宅におけるボランティア活動支援受付窓口]を開設について ● 調整できる支援内容・活動場所・条件 / 注意点について
- お申し込み・お問合せ窓口について

お申し込み・お問合せ窓口について

メールアドレス kasetsu@kumashakyo.jp
 お問合せ受付時間 平日 午前9時～午後5時
 熊本県災害ボランティアセンター内 電話096-342-8266 ファックス096-324-5427
 ・多くのご支援の申し出をいただいております。電話がたいへん混み合っております。
 ・活動申込書(Word)、または、以下のフォームにより、できるだけメールにてお申し込み・お問い合わせください。
 ・迷惑メールなどの設定を行っている方は、kumashakyo.jpからのメールが受信出来るよう設定変更をお願いします。
 ・被災者の方々のニーズや被災地の状況に合わせて調整を優先させていただきますので、お問い合わせや質問等にはすぐにお答えできないことや、お申し出の内容によってはご希望に添えない場合がありますことをご了承願います。
 ・活動終了後は、14日以内に活動報告書(Word)に公開可能な活動状況の写真を1～2枚添えて、できるだけメールにて提出してください。

お申し出の内容

- ・申込者住所
- ・団体名(フリガナ)
- ・代表者氏名
- ・担当者氏名(フリガナ)
- ・電話番号(現地で連絡可能なもの)
- ・ファックス番号
- ・メールアドレス
- ・活動目的
- ・活動内容
- ・実施者(支援者)人数
- ・対象者数
- ・活動希望場所
- ・過去の活動経験
- ・第1希望日程: ○月○日○曜日～○月○日○曜日、○時～○時頃
- ・第2希望日程: ○月○日○曜日～○月○日○曜日、○時～○時頃
- ・第3希望日程: ○月○日○曜日～○月○日○曜日、○時～○時頃

<食品事故防止のために次の項目をご記載ください>
 健康チェック

- ・下痢、発熱の症状はありませんか なし / あり (人)
- ・手指に傷はありませんか なし / あり(人)
- ・指輪は外していますか 外している / 外していない(人)
- ・衣服は清潔ですか 清潔 / 不清潔
- ・爪は短く切っていますか 短い / 長い

※ボランティア向け宿泊所のご案内
 詳細は、次のリンクをご参照のうえ、受け入れ先へお申し込みください。
[熊本県立菊池少年自然の家](#)
[熊本県立豊野少年自然の家](#)

- [仮設住宅におけるボランティア活動支援受付窓口]を開設について ● 調整できる支援内容・活動場所・条件 / 注意点について
- お申し込み・お問合せ窓口について

▲ページの先頭へ

戻る ホーム

Copyrights 2008 Kumamoto Prefectural Council of Spocial Welfare Allrights Reserved.

熊本地震・支援団体火の国会議・ひごまる会議

熊本地震被災地におけるこれからの復興への取り組み

日時

2016年
7月23日 土 13:30~17:00

くまもと県民交流館パレア10階 パレアホール

入場無料

報告 1

13:40~14:10

「熊本地震における『民のチカラ』」

報告：江川 紹子 (ジャーナリスト)

報告 2

14:10~15:00

「連携をふりかえる」

報告 3

15:10~16:00

「これからも続く復旧、
その後の復興にどう臨むか」

●中越地震、東日本大震災の経験からの提言

報告 4

16:10~16:40

「ブースセッション」

設置ブース：1.物資・炊き出し 2.避難所運営(生活環境、自治運営)
3.福祉避難所 4.医療・福祉 5.女性・子ども
6.観光・まちづくり

分科会

16:40~17:00

「ふりかえり」

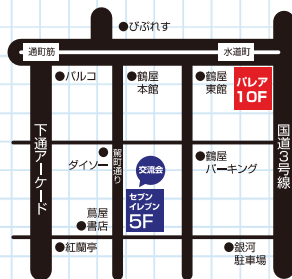
交流会

18:00~

「応援ありがとうの夕べ」



報告者
江川 紹子 (ジャーナリスト)
東京都生まれ。早稲田大学政治経済学部卒業後、神奈川新聞記者を経て、フリーランスのジャーナリストに。主な著書に「救世主の野望・オウム真理教を追って」「大仏砕流に消ゆ」「6人目の犠牲者〜名張毒ぶどう酒殺人事件」もか吉ボランティア犬になる。」など



交流会会場 劇場 Laputa Garden / bar Abyss
バーアビス
〒860-0801 熊本市中央区安政町 2-29
セントラルビル 5F 070-5482-1550

「熊本地震 被災地におけるこれからの復興への取り組み」プログラム

県外からの支援団体、行政（熊本県・市町村）、社会福祉協議会、J.C、県内のNPOや市民団体、

それぞれの立場からこれまでの活動をふりかえり、これからも続く復旧とその後の復興、

熊本のまちづくりを展望し、継続した力を寄せ合う機会とします。

また今後も発生する可能性がある大規模災害の対応も視野に入れ、熊本地域の災害ボランティア団体のネットワークづくりにも寄与します。

【開会 / 13:30】

来賓挨拶：熊本県副知事 小野 泰輔 様

【報告 1 熊本地震における「民のチカラ」 / 13:35~14:05】

報告者：江川 紹子 様 (ジャーナリスト)

【報告 2 連携をふりかえる / 14:05~15:00】

■各機関・団体の報告 (予定団体)

熊本県社会福祉協議会、熊本県社会福祉協議会 他

全国支援団体 ⇒ 日本財団、世界の医療団、(一社)ピースポート
災害ボランティアセンター、(特非)レスキュー
ストックヤード、(一社)キャンパス、プロジェクト九州

地元団体 ⇒ (特非)スペシャルオリンピックス日本・熊本、
熊本県ユニセフ協会、(特非)オハイエ熊本、
(特非)ソナエトコ、NPO法人日本防災士会・熊本
県支部、NPO法人子育て応援団みるくらぶ、
(特非)小町ウィング、尚絅大学ボランティア、
(特非)九州バイオマスフォーラム

休憩 15:00~15:10

【報告 3 これからも続く復旧、その後の復興にどう臨むか / 15:00~16:00】

中越地震の経験から提言⇒被災地NGO協働センター 鈴木 隆太 様
東日本大震災の経験から提言⇒特定非営利活動法人
いわて連携復興センター 鹿野 順一 様

熊本地震におけるこれまでの取り組みから提言⇒
全国災害ボランティア支援団体ネットワーク (JVOAD) 明城 徹也 様
コーディネーター⇒認定特定非営利活動法人
日本NPOセンター 吉田 建治 様

休憩 16:00~16:10

【報告 4 ブースセッション / 16:10~16:40】

設置ブース：1.物資・炊き出し 2.仮設・避難所 3.医療・福祉
(避難所) 4.女性・子ども 5.観光・まちづくり
6.学生ボランティア

【ふりかえり / 16:40~17:00】

全国災害ボランティア支援団体ネットワーク
(JVOAD) 代表 栗田 暢之 様

【閉会 / 17:00】

【交流会 応援ありがとうの夕べ】

・発災以降、県外NPOなど多くの団体に支援いただいていたところですが、一定の期間が経ち、熊本を離れていく支援団体も多くあります。今後も、全国からの支援団体と協力して県内の行政、社協、J.C、NPO、ボランティア団体などが中心となり、災害ボランティアのネットワークを立ち上げ、復旧、復興に向けて一歩一歩足を踏み出していく必要があります。

この交流会ではこれまで支援していただいた団体にお礼の気持ちを伝えるとともに、県民が復興に向けて強い気持ちを持って自らがんばろうとする機運も醸成することを目的としています。

- 1 日時：7月23日 18:00~
- 2 場所：バー アビス (Bar Abyss) 熊本市中央区安政町 2-29 セントラルビル 5F
- 3 参加対象者：県内外のNGO、NPO・団体をはじめ、被災者支援に関わった全ての人、また支援を受けた全ての県民

参加料として1人1500円ご負担願います

問い合わせ先：090-8663-8468 送付先 FAX 番号：096-273-6495

参加フォーム 以下にすべてご記入ください

団体名・氏名	参加人数	名
代表連絡先		
交流会	・参加する	参加人数 名
		・参加しない

申し込み締め切り 7月20日

主催

くまもと災害ボランティアネットワーク設立実行委員会

後援

熊本県、熊本市、全国災害ボランティア支援団体ネットワーク(JVOAD)